

研究室
からの
メッセージ

所在地 〒079-8501
北海道旭川市永山3条23丁目
1番9号

スタッフ 高波澄子(教授)、羽原美奈子(教授)、
工藤さつき(助教)

URL <https://www.asahikawa-u.ac.jp/hoken/kango/>



左から羽原、高波、工藤

旭川市立大学保健福祉学部
保健看護学科

公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

旭川大学は2023(令和5)年4月1日より公立大学法人旭川市立大学として生まれ変わりました。旧旭川大学保健福祉学部保健看護学科は2008(平成20)年に設置され、看護師・保健師統合カリキュラムとして保健師・看護師の養成を行ってきました。保健師課程は2012(平成24)年度より選択制が導入され、公立化後の現在も体制は変わらず、保健師の養成を選択制として実施しています。

Education

どのような教育をしていますか？

地方大学である旧旭川大学の理念は「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」として浸透しており、公立化された今もその志を引き継いでいます。特に新カリキュラムで力を入れているのは「地域包括ケアシステム論」をはじめとする地域看護科目です。「地域看護論」「地域体験実習」「地域/公衆衛生看護特論」ではフィールドワークを取り入れたアクティブな教育を心がけ、さらに「地域と協働論」で、地域における多職種連携の重要性を深く学ぶ形となっています。そして保健師活動の“みる・つなぐ・動かす”につないでいきます。実習は、保健所・行政機関で実習する他、学校・産業保健実習として市内高校保健室および地域産業(旭川家具や電子機器事業所)に協力を得て行って

いるのが特徴です。また毎年、道内各地で活躍している卒業生(保健師)を大学に迎え、先輩保健師から在学生に向けてシャトル研修を行っており、大変な人気を博しています。

Research

どのような研究をしていますか？

難病保健・家族看護、高齢者保健、母子保健分野など幅広く、現場の経験を活かした研究を課題としています。2018年から2022年まで科学研究課題で「地域における新規指定難病患者のニーズと生活支援・保健指導の在り方」に取り組みました。今後は地域の共生社会構築に役立つキャリア形成を目指す看護師・保健師育成を目標として、地域包括ケアに関わる研究課題にも取り組んでいきたいと思っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

研究活動を教育に活かしながら取り組むため、実際に難病連合会の皆さんと交流をしたり講義実習に招いたり、医療講演会を開催したり、地域住民に大変お世話になっています。市の社会教育で行っている旭川シニア大学(2011(平成23)年に開設された高齢者のための4年生大学)では「人生100年時代を健やかに生きよう」を合言葉に生涯学習としても学び合い、さらに隣町へ出向き介護初任者研修講師として福祉人材養成にも協力しています。

ひとこと

団塊の世代が後期高齢者に到達し介護・医療費等の社会保障費が急増する「2025年問題」は、財政上のみならず予防、介護、医療における人的・物的サービスをいかに提供するかが、喫緊の課題となります。疾病予防、介護、そして地域医療体制の整備等はまさに保健師に課せられていると言えるのではないのでしょうか。(高波)

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp